

事業報告

平成29年度 教育事業 信州高遠自然みつげ隊～秋編～

平成29年10月8日(日)～9日(月・祝)
【対象】家族・グループ
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家において、森・川・星空・動物といった豊かな自然環境と自然観察指導員・望遠鏡・プラネタリウムといった充実した環境・設備を生かし、子供達に豊かな自然体験を経験させ科学的な好奇心を育ませる。また他の家族との共同宿泊生活を通して、交流や生活習慣の確立を目指す。

～主催～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

～活動日程～

時		13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
10月8日(日)	13:00～13:30 受付 13:30～ 開会式	受付・開会式	ネイチャーゲーム 散策	木のペンダント作り	クラフト活動	夕飯のつごい	夕食	休憩	星座観察	入浴	就寝
時	6	7	8	9	10	11	12				
10月9日(月祝)	起床	朝のつごい 朝食	荷物整理	きのこ観察	(野外調理) 楽しもう!	秋の味覚を	閉会式・解散	12:00～12:30 閉会式 12:30～ 解散			

～参加者～

10家族(大人:13名、小学生:13名、幼児:2名) 計:28名

(長野県、愛知県、東京都)

～活動トピックス～

活動Ⅰ 散策・オリジナルの木のペンダント作り

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

自然の家周辺を散策しながら葉っぱ等を使ったネイチャーゲームを行った後、オリジナルの木のペンダント作りを行った。ペンダント作りでは「さくら」「からまつ」「白樺」の材料から、自分たちでのこぎりを使い切り出し、オリジナルのペンダントを作成した。木の年輪を生かした絵や輪切りの形を生かした作品など素敵なペンダントとなった。



活動Ⅱ 星座観察

講師：信州高遠青少年自然の家 星空観察指導員

128mmの天体望遠鏡と双眼鏡を使って土星の輪やアンドロメダ星雲などの星空を観察したり、プラネタリウムで秋の星座や宇宙についての説明を聞いたりした。



活動Ⅲ きのこと観察

講師：信州高遠青少年自然の家 自然観察指導員

所内を散策しながら、自生している「きのこ」の観察を行った。見つけたきのこの名前やどんな特徴を持っているかなど、指導員の説明を聞きながら観察を行った。今年はきのこの自生が少なかったが、子供達は林の中や枯葉の下などをよく観察し、たくさんの種類のきのこを見つけ、指導員からの説明に聞き入っていた。



活動Ⅳ 野外調理

「秋の味覚を楽しもう！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員 ボランティア

秋の味覚「きのこ」をたっぷり入れた「きのこうどん」をつくった。今回、伊那市にある「きのこ王国」の協力をいただき、きのこの菌床をお借りし、菌床から生えているきのこを収穫する体験も行った。参加者からは「みんなと協力して調理することができた。きのこがたくさん入っていて美味しかった。」などの声が聞かれた。



～参加者の声～

- 子供の興味や関心を広げるきっかけになった。生活面の自立や他者との協力も大切なことと感じた。
- 秋を感じられる内容で楽しく活動することができた。ペンダント作りの際に子供が真剣にのこぎりで木を切る顔が印象的だった。
- 土星の輪やアンドロメダ星雲などをみることができ感動した。星空観察の先生のお話も楽しく分かりやすかった。
- 親子で山道を歩き、たくさんの種類のきのこを見つけることができた。先生の説明も楽しかった。

～成果と課題～

- ペンダント作りの際に3種類の木から選び、好みの大きさにのこぎりを使って切り出す活動を組み込んだ。参加家族からも子供がのこぎりを使う機会が少ないため貴重な機会になったとの感想が聞かれ満足度の高いものとなったと考える。
- ペンダント作りの活動グループ、野外調理のグループを同一のグループ分けにしたことで、食事の時や休憩時間に一緒に遊ぶ場面が見られ、野外調理の際は積極的に会話する場面が見られた。家族間での交流の機会につながったと考える。
- 今回は2日間天候に恵まれたが、荒天時の際に屋内でも「自然」「季節」を感じることができるようプログラムの検討が課題と考える。
- 本事業は年度当初に「自然みつけ隊」として募集を行っている。キャンセルを考慮定員よりも多く受付を行っているが、2週間前を過ぎてからのキャンセルが多くあった。次年度以降、募集時期を半期毎にするなど募集方法の検討が必要と考える。